

第1回 口腔機能って何だろう？

＝ 掲載にあたって ＝

北九州在宅医療・介護塾
塾長 久保 哲郎

この度、介護家族と医療や介護に携わっている多専門職種を支援するための「学びの場」として、「北九州在宅医療・介護塾」を設立致しました。

このようなもとの、今回「老いを支える北九州 家族の会」の高田芳信代表より、「口腔機能」について様々な情報を「サンドリーム」に投稿して載せたいという要望がありましたので、「口腔機能って何だろう？」というテーマで今月より掲載させて戴くことになりました。

「口腔機能」は、元気高齢者は勿論のこと、要介護者や認知症者のADLやQOL向上の達成に対して極めて重要に関わっています。このようなことを含めて筆を進めて行きたいと思っていますので、今後とも宜しくお願いします。

ところで、皆さんは、「食」という文字についてどのようにお考えでしょうか？

「食」という文字を上下に分割すると、「人と良」という二つの文字になります。

つまり、「食」は「人を良くする」ということを意味していると考えられ、そして、この「人」という文字は、「人⇒ノ＼」に分割され、右側の支えがなくなれば左側のノが倒れてしまうことで「人」の文字が存在しない、つまり「人」は支え合いがあってこそ「人」の文字が存在し、「生きることができる」ということがいえます。

従って、「食」は、関わりのある人々が支え合いながら様々な方法でもって食支援を行うことで、「自分らしく生きる」ことを可能にすると考えることができます。

是非とも今月から始まった「口腔機能ってなんだろう？」のページによって、口腔機能に関係する様々な情報を共有することで、病院や施設、在宅で療養されている方々を含め、介護予防や認知症予防に対してもご参考になれば幸甚に存じます。

来月からは、具体的な事例を含め口腔機能についてご紹介させて戴きます。

ヒトは誰でも、「**口腔機能**」を使って食べないと、生きてはいけません。

でも、「**口腔機能**」は、加齢や障がい、そして廃用とともに低下し、

その結果、「**食べる**」ができなくなるだけでなく、

心も廃用してしまいます。

「**口腔機能**」は、死を迎えるまでの間、

「**自分らしく生きる**」ための大変重要な機能です。

哲